



第56回 牛鬼まわし





宇和島の夏 牛鬼の帰還



DAY 1



3年越しの熱気と活気

宇和島の夏の風物詩・「うわじま牛鬼まつり」が、3年振りに戻ってきました。駅前通りに飾られた提灯や各所で見かけるようになったポスターで、久しぶりの開催を実感した人も多かったのではないのでしょうか。雨がちで不安定な天気が続いていましたが、3日間を通して夏らしいかんかん照りで、まるで祭を待ち望む気持ち苍天に届いたかのように思えました。この季節特有のじっとりとした熱気がこもるアーケードに響き渡るガイヤオンザロードや宇和島おんど、踊り子たちの色とりどりの衣装のひらめき、立ち並ぶ出店の賑わいと熱した鉄板から上る香り……。この数年遠ざかっていた祭の雰囲気会場をそこかしこに感じられました。

最終日には親牛鬼が堂々の登場です。例年より少ない5体でのパレードではあったものの、荒々しく首を振り店先などで厄を祓いながら練り歩くさまはまさに圧巻。牛鬼の躍動感溢れる動きのひとつひとつに、観衆から感嘆の声があがるなど、厄払いの象徴にふさわしい猛々しさが披露されました。例年より制限された形での開催

DAY 2



DAY 3



DAY 1・2



①3日目の親牛鬼パレード。②南予太鼓連による演奏。ガイヤカーニバルに花を添える。③ガイヤカーニバル子供の部。元気なパフォーマンスで盛り上げる。④ガイヤカーニバル大人の部。チームそれぞれの個性が光る。⑤ブラスバンド・トランペット鼓隊・県警音楽隊のパレード。⑥宇和島おどり大会。宇和島おんどに合わせてしっかりと踊る。⑦海上花火大会。観衆の目を楽しませた。⑧海上自衛隊多用途支援艦「げんかい」。坂下津に停泊した艦内の見学ができた。⑨航空自衛隊西部航空音楽隊によるミニコンサート。定番の応援ソングから懐かしい楽曲までさまざまなメドレーが演奏された。⑩1、2日目に開催されたオールカマーフェスタ。出店が立ち並び、訪れた人たちが和気あいあいと見て回る様子は夏祭りらしい光景。



運ばれていく牛鬼。トラックの荷台にやっと収まるほどの大きさと通行人の目を引く。

休憩
移動中の牛鬼を見つけました。写真ではかわいらしく見えますが、実際の迫力は相当のもの。トラックに乗った牛鬼に追い抜かれた人たちははじめ驚いた様子で、次の瞬間には「牛鬼だ!」とばかりにみな表情を明るくします。牛鬼の帰還がもたらした笑顔を目の当たりにした1コマでした。

となった今年の牛鬼まつりも、こうして盛況のうちに幕引きとなりました。3年越しの熱気と活気の中で、今度はさらに多くの牛鬼がまちを練り歩き、以前のように気兼ねなく祭を開催できることを期待しつつ、早くも来年の夏が待ち遠しく思われました。